

ピックアップ キラリあさひ人

vol.4

まちの主人公は「ひと」。

さまざまな分野からキラリ輝く人をピックアップし、紹介します。



菊がつなぐ交流の輪

きよくほうかい
旭芳会

花澤 ふささん(見広)

「見てくれた人が『きれいだなー、よくできた見なー』って言ってくれたら、それはもう、うれしいの」——。庭に並べられた菊の鉢植えの数々を眺めながら話す顔には、優しい笑みが浮かぶ。

菊花大会への出品は、今年で6回目。「独学ではいいものができなかった。教えてもらったからできた」と当時を振り返る。7年前に独学で菊作りを始めるも、なかなかうまくいかず、菊作りの先生を紹介してもらう。そして「一人で作っているよりは」と入会した、菊作りの団体である旭芳会の友人たちとの交流が、より良い作品作りにつながった。

茎を型に結び付け、咲いた花々で富士山などの形を表現する「特作」という部門で、大作を手掛けて入賞するようになったのも、旭芳会の友人から勧められたことなど

がきっかけなのだそう。

「とにかく菊だけ、花だけ」——。菊を植える春先から見ごろを迎える11月までの半年以上の間、毎朝の水掛けや、茎を真っすぐにする調整など、理想の菊に育て上げるための世話で大忙し。でも、そんな忙しさの中で、菊を見に来てくれた人たちのおしゃべりは、菊作りの楽しみの一つだとか。

精魂を込めて育てられた菊たちは今年、どんな花を咲かせてくれるのだろうか。

行政へ一言！

交通事故を減らすためにも、危険な箇所には信号機を設置してもらいたい。生活に密着している場所では、危険でも通らなければならないので、怖いとか言っていないからね。

【旭市菊花大会】

今年も11月1日(火)～15日(火)、中央児童遊園で開催される菊花大会。咲き誇る色鮮やかな作品の数々が、毎年訪れた人たちの目を楽しませている。

